安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

※ 本書はマシーン使用者が、いつでも読めるところに必ず保管してください。
※ マシーンの取り扱いは、マシーンの危険性を この取扱説明書でよく理解された方が行なってください。
※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよく お読みのうえ、正しくお使いください。
※ ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
※ このマシーンは、ソフトボール（革・ゴム3号）の練習以外に使用しないでください。
※ 絵表示と意味は、次のようになっています。

⚠ **危険** 取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容を示しています。

⚠ **警告** 取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容を示しています。

⚠ **注意** 取り扱いを誤った場合、**「傷害を追う可能性、および物的損害のみの発生が想定される」**内容を示しています。

❗ 守っていただくべき義務行為を示しています。

🚫 禁止の行為であることを告げるものです。

⚠ 感電の恐れがあることを告げるものです。

⚠ 発火の可能性があることを告げるものです。

⚠ 危　険

❗ 事故を防ぐためにマシーン使用前にはマシーン本体（リード線・ハンド・ウデ・スプリングなど）に異常がないか点検してください。特にハンド・ウデに亀裂などがある場合は、飛んでいく恐れがあり大変危険です。必ず交換してください。

❗ 使用前にはネットに異常がないか確認してください。破れたネットは、打球が突き抜ける恐れがあり大変危険です。必ず補修・交換してください。

❗ マシーンを使用する時は、マシーン前ネット・マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）・防球用ネットを設置し、マシーンを操作する人は安全のためにヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を必ず着用してください。

🚫 革や糸が切れているボール、硬さの一定しないボール、大きさの異なるボール、傷みのひどいボール、濡れたボールなどは使用しないでください。コントロールが悪くなり、予想外の方向に飛ぶ恐れがあります。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

⚠ 危 険

- マシーン使用中は、マシーンの周辺及び使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。
- マシーン使用中は、大変危険ですから絶対にマシーンの前を横切らないでください。
- 球速やコントロールの調整時は大変危険ですからキャッチャー、バッターは定位置に付かないでください。設定変更直後はコントロールが変わりますので充分に注意してください。
- ボール投球時は、必ず周囲の安全を確認して、声を出してバッターに合図をしてください。
- ボールホルダーへの直接のボール供給は絶対に行わないでください。作動中のハンド・ウデが接触する恐れがあり大変危険です。ボール供給は必ずシュート投入口から行ってください。
- 回転している部分には、絶対に触れないでください。
- マシーン使用中にマシーンの振動が大きくなったり、異音がした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、マシーンの使用を中止してください。

⚠ 警 告

- 雨の日はマシーンやコードリールを絶対に使用しないでください。また、マシーンやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。濡れた手で電源プラグに触ると感電の恐れがあります。
- マシーンに表示されているボール以外は絶対に使用しないでください。球速が変わったり、コントロールが悪くなる恐れがあります。
- アースは必ず接地して使用してください。万一、マシーンが漏電した場合、感電する恐れがあります。
- マシーンの作動中は電源スイッチ以外の部分に絶対に手を触れないでください。
調整は必ず電源スイッチを切り、マシーンが完全に停止したのを確認してから行なってください。
- 複数の打席で同時にバッティング練習するときには、他打席の打球にも十分注意してください。
- マシーンは絶対に分解・改造しないでください。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

⚠ 警　告

🚫 弊社指定部品以外の部品は絶対に使用しないでください。

⚠ 注　意

⚠ コードリールのコードは必ず全部引き出して使用してください。巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあります。
（燃えることもあります。）

❗ 電源プラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になります。

❗ マシーンの移動は電源スイッチを切りマシーンが完全に停止したのを確認してから、転倒させたり、ぶつけたりしないように注意して、移動用取っ手を持って移動させてください。
※ グランドはぬかるんだりして転倒につながる可能性がありますので注意してください。

❗ マシーンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に必ず保管してください。

🚫 スプリングが引っ張られる途中で電源スイッチを切らないでください。次に電源スイッチをONにした際に、モーターの回転が停止しモーターが焼損したり、モーターが逆回転する恐れがあります。

ご使用の前に！

★取扱説明書は読みましたか
★商品の確認は行いましたか
★電圧の確認は行いましたか

初めて使用する時は次の事項に特に注意してください

◆ キャッチャーやバッターはつけないでコントロールの調整をしてください。
◆ コードリールは巻いたまま使用しないでください。（必ず全て引き出してください）
◆ 同じコンセント又は同じコードリールで別のマシーンを使用しないでください

モーターの焼損防止に！次の事項を確認してください

◆ このマシーン（AC100V 用）の使用可能電圧は95～110Vです。
マシーン使用前には、テスターを使用し、電源電圧を必ず確認してください。
電圧を計測する際は、マシーンに使用する電源または同一電流が流れるコンセント
（例：同一コードリールのコンセント）をテスターで計測してください。
200Vでは使用しないでください。モーターが焼損します。

◆ マシーン使用中の最大負荷時（スプリングが最も伸びた状態）に電圧が90Vを
下回ると、電圧不足によりモーターの回転が停止、あるいはモーターがスプリングの
張力に負け、逆回転する可能性があります。
電源スイッチが OFF の状態で使用可能電圧であっても、使用環境（コードリール
配線の距離が長い、配線が細い、同一電源で複数台のマシーンを運転する等）に
よってマシーンの最大負荷時に電圧が90Vを下回る可能性があります。

◆ マシーン使用中の最大負荷時の電圧を計測する際は、マシーンに使用する電源
または同一電流が流れるコンセント（例：同一コードリールのコンセント）をテスターで
計測してください。90Vを下回る場合は、取扱説明書の「マシーン使用環境について
確認していただきたいこと」を参照し、適切な処置をしてください。

◆ マシーンを使用中にモーターの回転が停止あるいは逆回転した場合は、すぐに
電源スイッチを OFF にして スプリングを緩め、使用を中止してください。

◆ 電源スイッチが ON の状態で、モーターの回転が停止したままで放置すると、
モーターが焼損します。

◆ 電源スイッチが ON の状態で、モーターが逆回転すると、ハンド等の部品が
破損する原因となり、怪我にいたる恐れがあります。

マシーンが到着したら

○　到着したマシーンが、注文された商品であることを確認してください。（品番・使用電圧・使用球など）

○　到着したマシーンが、運送途中、その他のトラブルなどで損傷・破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシーンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。

※　マシーンの到着より点検、確認、連絡まで５日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

目次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
ご使用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
マシーンが到着したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
マシーン使用環境について確認いただきたいこと ・・・・ 6
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
移動用取っ手の取付方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
マシーンの設置について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
使用ボールについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
マシーンの使用手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
消耗品について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
警告シールについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

マシーン使用環境について確認いただきたいこと

○ マシーンに使用するコンセントの形状・電圧を確認してください。

○ マシーンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで実測してください。

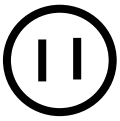
○ このマシーンはAC100V専用です。
モーターが焼損しますのでAC200Vでは絶対に使用しないでください。

○ マシーンに使用するコンセントのブレーカーは20A以上を使用してください。またコンセントは、単独回路（20A）で使用してください。図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。

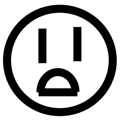
> 注） 20A（アンペア）以下のブレーカーを使用すると、作動中にブレーカーが落ちる場合があります。（容量不足）

【コンセントの代表例】

AC100V用

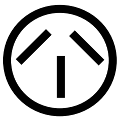


（表示）
AC125V
15A

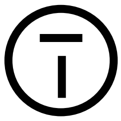


（表示）
AC125V
15A

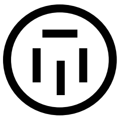
AC200V用（使用不可）



（表示）
AC250V
15A



（表示）
AC250V
20A



（表示）
AC250V
20A

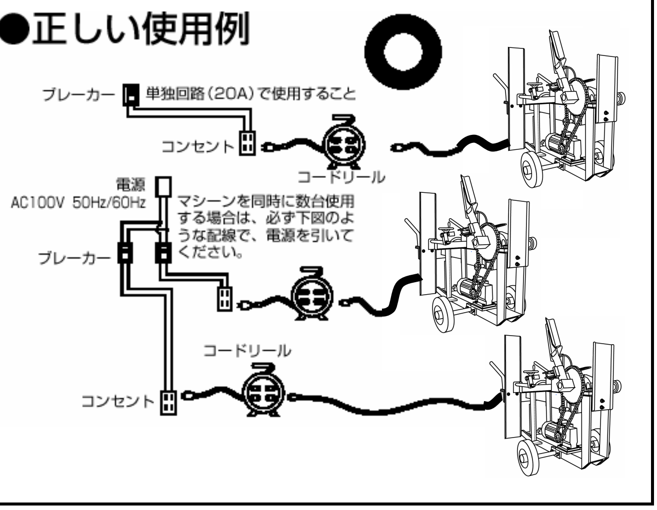
> コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。テスターで電圧を実測してください。

○ コードリールを使用する際、コードは必ず全部引き出してください。

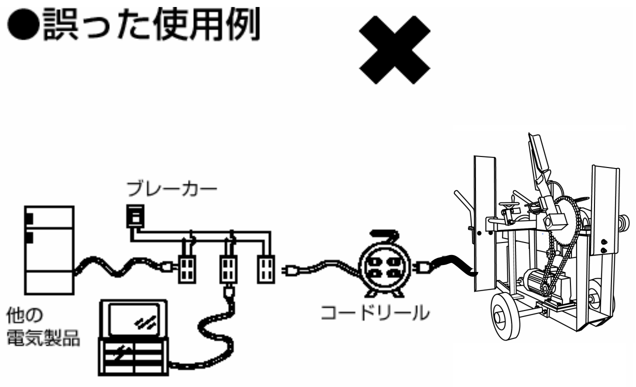
○ 発電機を使用する場合は、2．3 kW以上の商品を使用し、発電機の取扱説明書をお読みのうえ、操作してください。

> 注） コードリールの全巻時の最大定格電流は7Aです。全て引き出したときに、定格電流は15Aになります。（100V・50m・15A用）
> コードリールは全巻時7Aを超過した場合、コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあり、大変危険です。

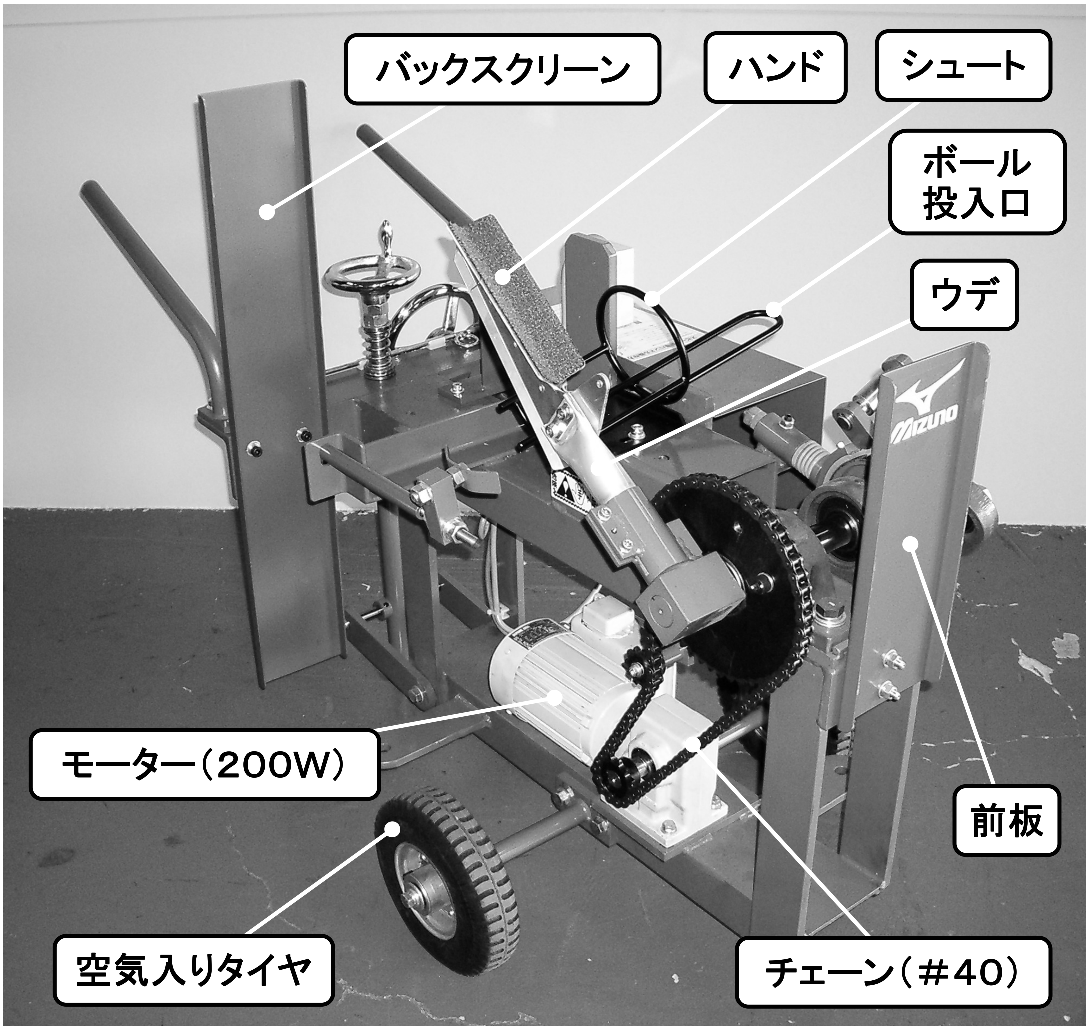
●正しい使用例

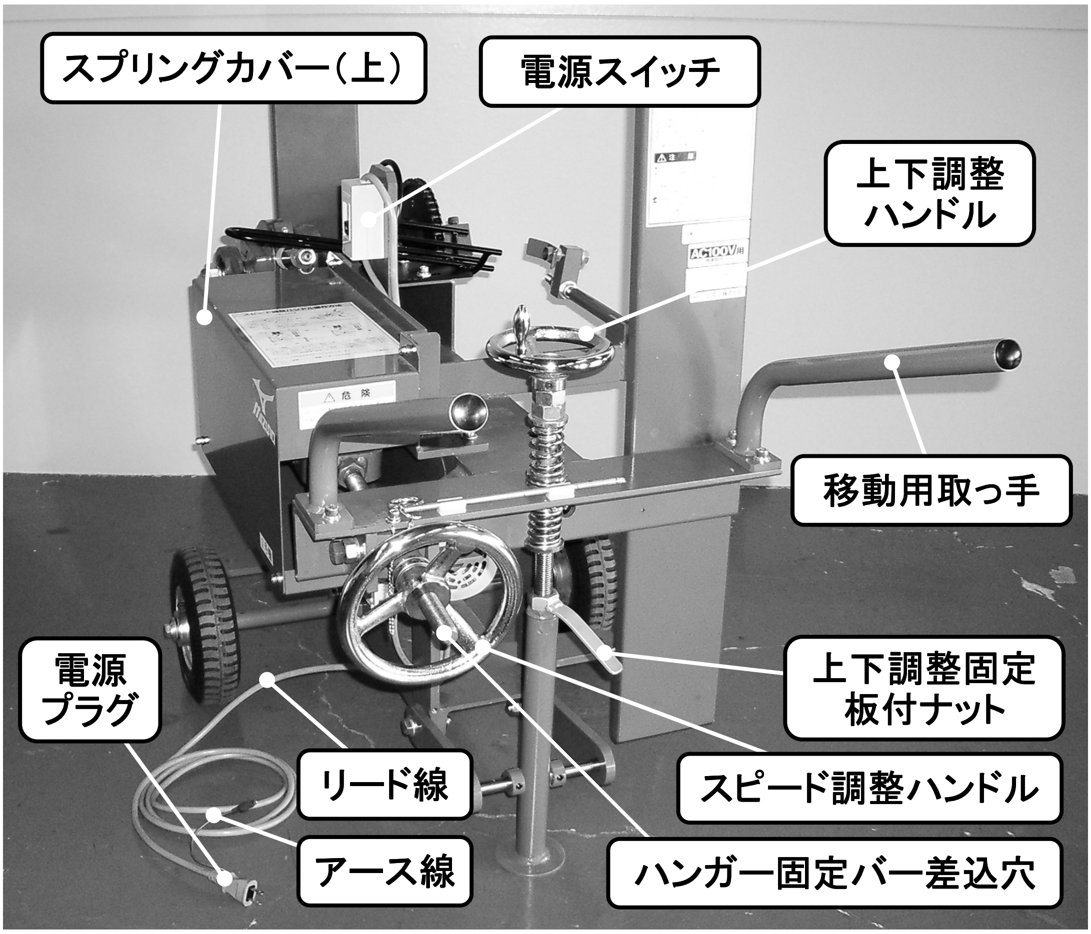


●誤った使用例

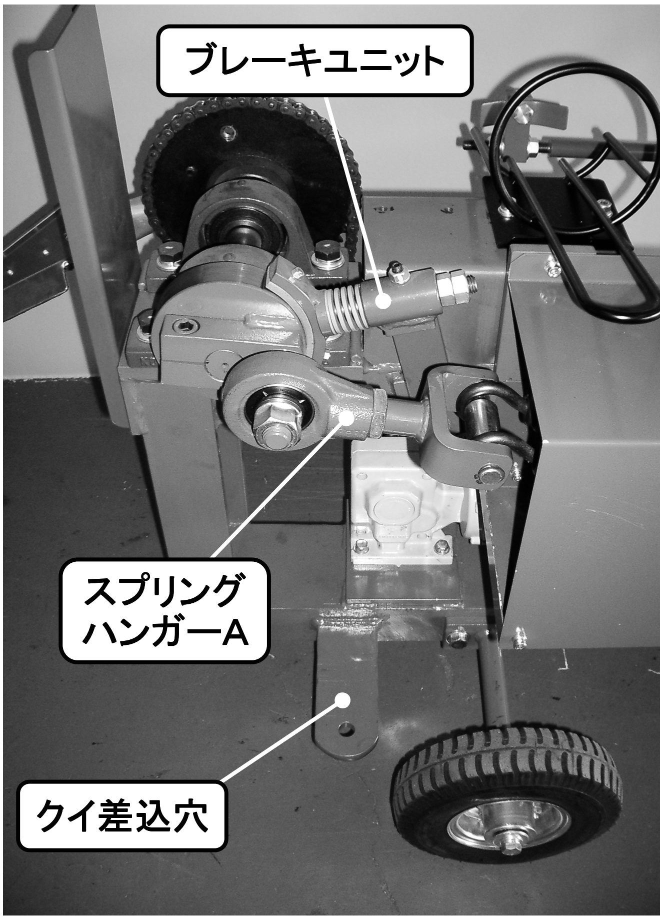


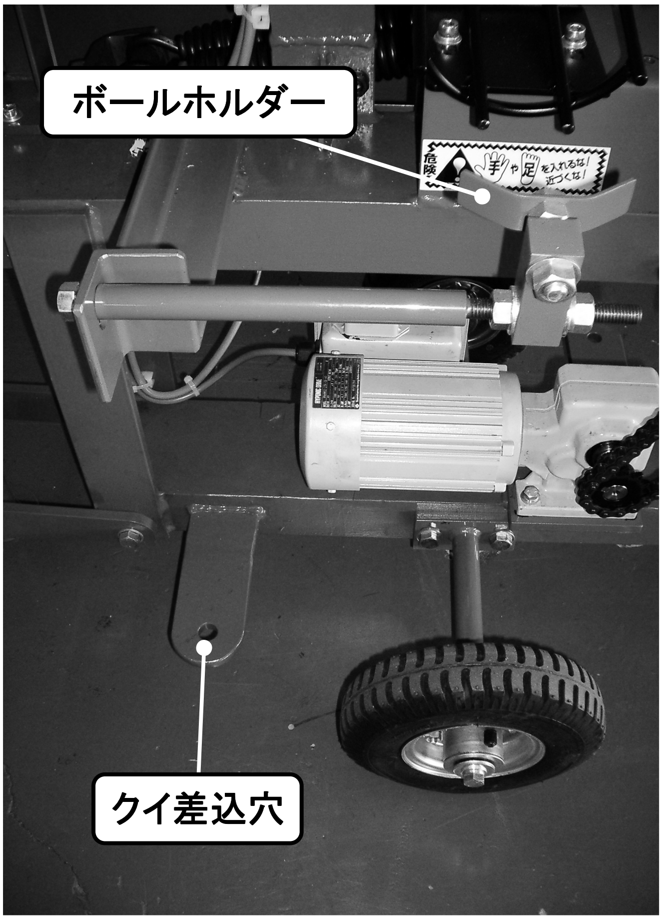
各部の名称

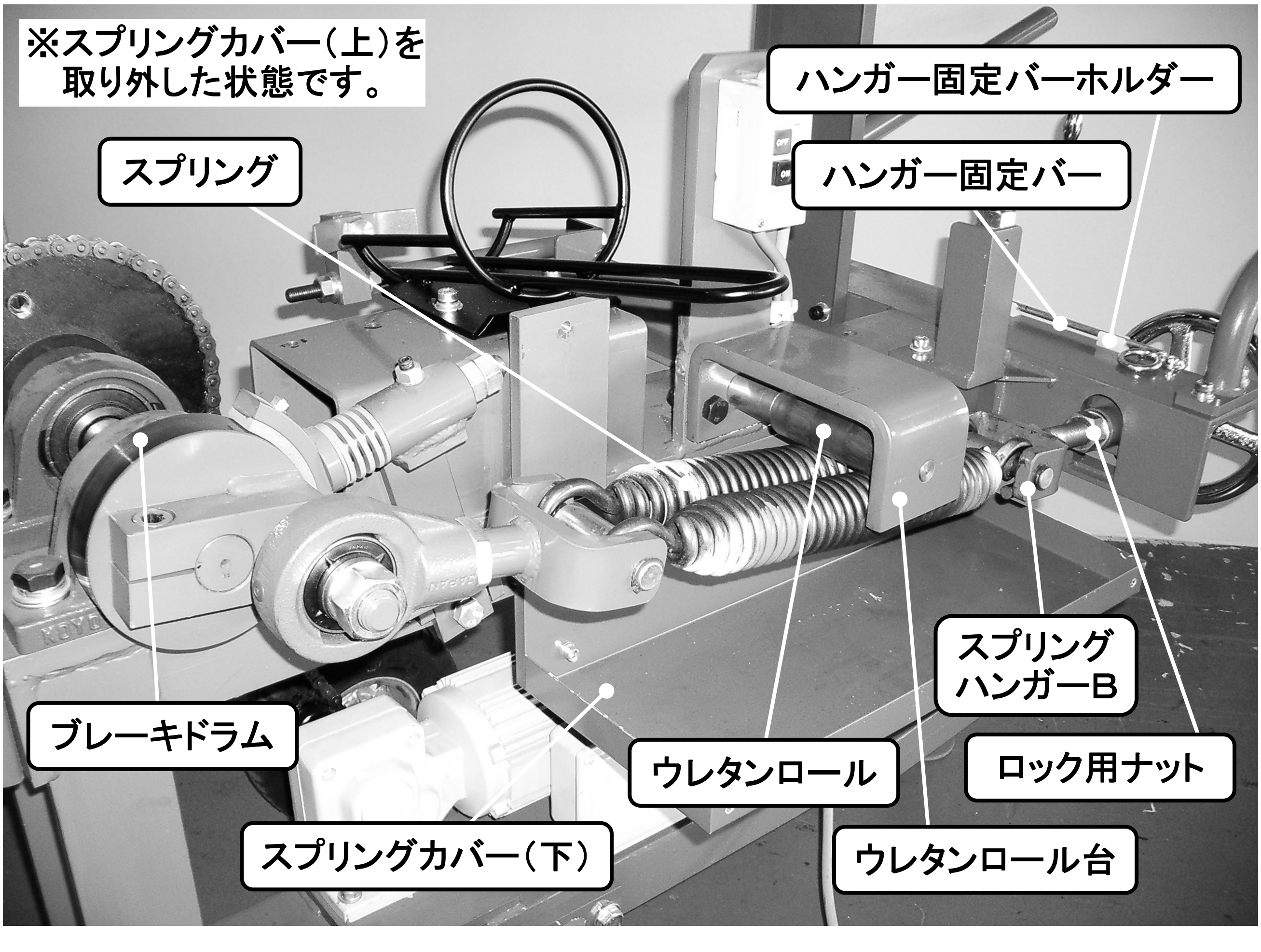

バックスクリーン
ハンド
シュート
ボール
投入口
ウデ
モーター（200W）
前板
空気入りタイヤ
チェーン（＃40）


スプリングカバー（上）
電源スイッチ
上下調整
ハンドル
移動用取っ手
電源
プラグ
上下調整固定
板付ナット
リード線
スピード調整ハンドル
アース線
ハンガー固定バー差込穴

各部の名称

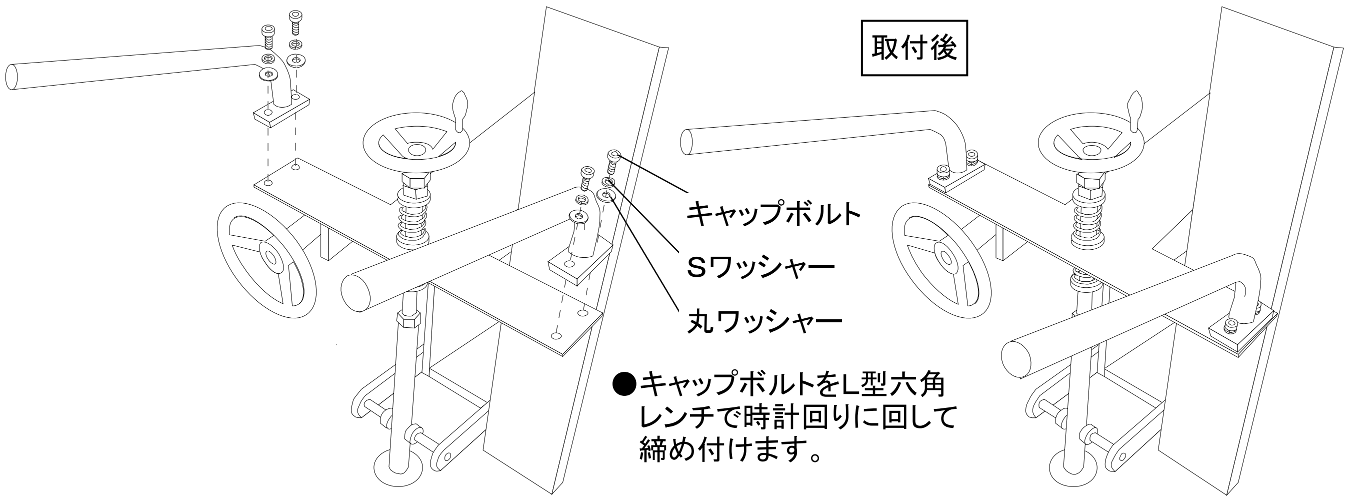

ブレーキユニット
スプリング
ハンガーA
クイ差込穴


ボールホルダー
クイ差込穴


※スプリングカバー（上）を
取り外した状態です。
ハンガー固定バーホルダー
スプリング
ハンガー固定バー
スプリング
ハンガーB
ブレーキドラム
ウレタンロール
ロック用ナット
スプリングカバー（下）
ウレタンロール台

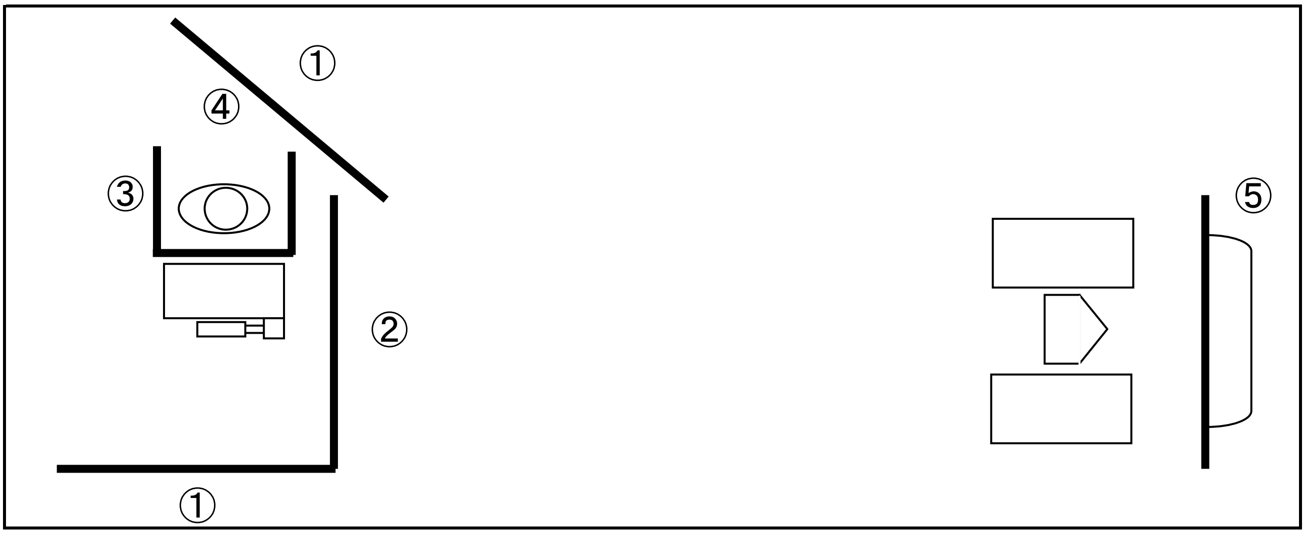
移動用取っ手の取付方法

○ マシーン到着時は移動用取っ手が取り付いておりません。
付属のL型六角レンチ(5mm)を使用し、移動用取っ手を取り付けてください。



マシーンの設置について

○ 安全にマシーンを使用するために、下図の要領でマシーンを設置してください。



① 防球ネット
複数の打席で同時にバッティング練習するときには、他打席からの打球にそなえるために
防球ネットを設置してください。

② マシーン前ネット
マシーンおよびマシーンを操作する人を打球から守るために設置してください。ネット部を
マシーン側に軽く押してマシーンに接触しない間隔(ハンド部が最も前に出た状態のとき)を
あけて設置し、動かないように固定してください。

③ マシーン投球者用保護ネット(オペレーター用ネット)
マシーンを操作する人を打球から守るために設置してください。

④ マシーンを操作する人
安全のためにヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を必ず着用してください。

⑤ ティーバッティング(トスバッティング)用ネット
ボールの捕球のために設置します。キャッチャーは絶対に つかないでください。

使用ボールについて

〇 マシーンに表示されているボール以外は絶対に使用しないでください。球速が変わり、コントロールが定まらなかったり、ボールの種類によっては部品の損傷にもつながり大変危険です。

〇 よりよいコントロールを得るために、同じメーカー及び同程度の使用頻度のものを使用してください。

革仕様について

◎ 糸切れ・革切れ・革の浮いているもの・濡れたもの・水を含んで重たいものなどは絶対に使用しないでください。コントロールが悪くなり大変危険です。また、部品損傷の原因となります。

ゴム仕様について

◎ 極度に擦り減ったもの・濡れたものなどは絶対に使用しないでください。コントロールが悪くなり大変危険です。

◎ ゴム仕様のマシーンは、使用できるボールがゴム3号のみとなります。

マシーンの使用手順

〇「安全上のご注意」（P. １～３）をよく読んで、使用してください。

1 マシーン本体や使用するボール・ネット・防具に異常箇所がないか点検します。

2 マシーン本体を使用位置に移動させます。

3 「マシーンの設置について」（P. ９）の要領でネットの設置、防具を着用します。

4 コードリールのコードを全て引き出し、打球の当たらない場所にコードリールを設置します。

※ マシーン購入後の初回使用時は次の５～８の作業をする必要はありません。

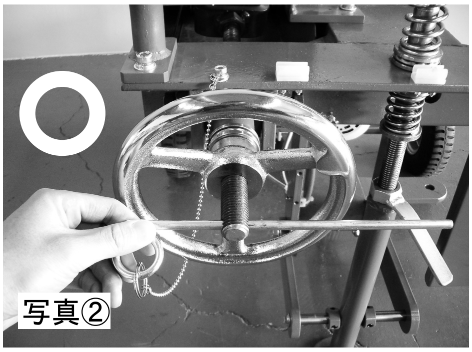
5 ロック用ナットを使用する位置に合わせます（写真①）。

※ 前回使用終了時と同じ球速で使用する場合は、ロック用ナットの位置を動かす必要はありません。

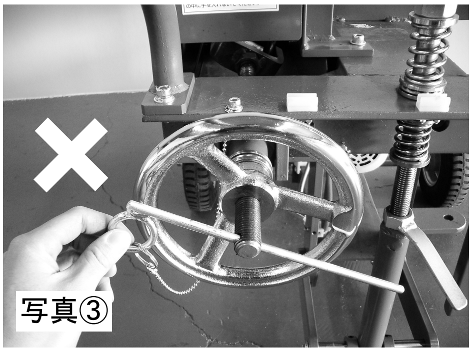
写真①

6 ハンガー固定バーをハンガー固定バー差込穴に差し込みます。

7 ハンガー固定バーを地面に対して平行に保ち（スプリングが左右平行になるように）、スピード調整ハンドルを時計回りに回してしっかりと固定します（写真②）。

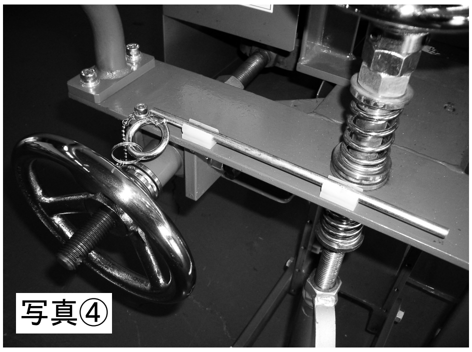

写真②

※ スピード調整ハンドルだけを回して固定した後に、ハンガー固定バーを使用してスプリングを左右平行に修正すると、スピード調整ハンドルが緩み方向に回り、使用中にハンドルが緩んで球速が不安定になる恐れがあります（写真③）。またスピード調整ハンドルの緩みは部品破損の原因となりますのでご注意ください。


写真③

8 ハンガー固定バーをハンガー固定バーホルダーに取り付けます（写真④）。

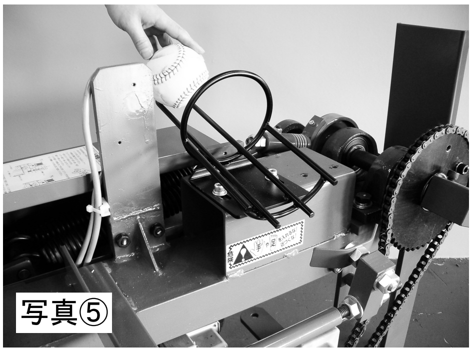
9 上下調整固定板付ナットが締まっていることを確認します。緩んでいる場合は、時計回りに回して締めます。


写真④

10 シュートにボールを投入します。

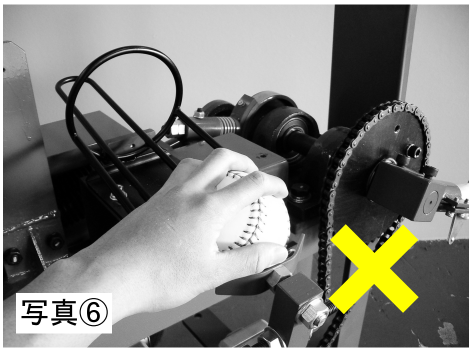
11 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、アースを接地した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

12 マシーンやバッターボックス付近に人がいないことを確認し、ハンドやウデなどの回転物に接触物がないかを確認した上で電源スイッチをONにし、声を出し、合図をしながら試投します。


写真⑤

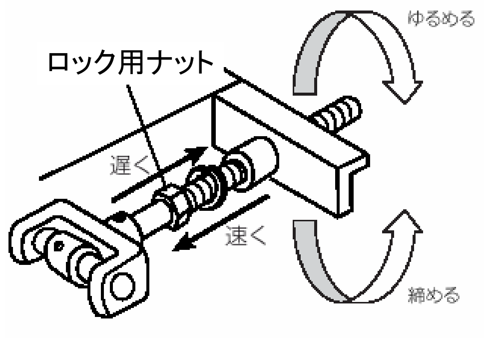
ボールは必ず1投につき1球ずつ投入してください（写真⑤）。マシーンが投球してからハンドが再び始動する間に投入してください。投入のタイミングを逃した場合は、1回空打ちしてから投入してください。

ボールホルダーへの直接のボール供給は絶対に行わないでください。作動中のハンド・ウデが接触する恐れがあり大変危険です。ボール供給は必ずシュートの投入口から行ってください（写真⑥）。


写真⑥

マシーンの使用手順

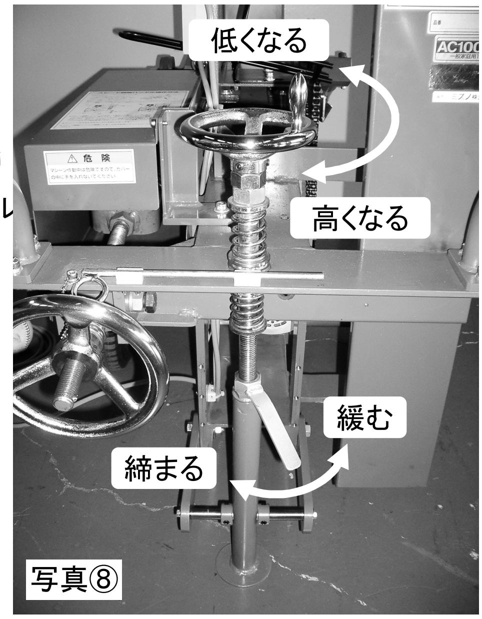
13 球速を確認します。球速を変更する場合は、電源スイッチをOFFにし、ロック用ナットが緩むまでスピード調整ハンドルを反時計回りに回します。ロック用ナットを前方へ回すと速く、後方へ回すと遅くなります（イラスト⑦）。調節した後、使用手順6～8を参照し、ロック用ナットを固定します。



イラスト⑦

! マシーンを停止させる時は、ハンドが振り切った後すぐに止めてください。ハンドがボールを受ける直前や、受けた状態で止めると、電源スイッチをOFFにしてもボールを投げ出す恐れがあります。また、次回の始動時、電圧不足によりモーターの回転が停止、あるいはモーターがスプリングの張力に負け、逆回転する可能性があります。

14 コントロールを確認します。ボールが上下にずれている場合は、電源スイッチをOFFにし、上下調整固定板付ナットを反時計回りに回して緩めます。上下調整ハンドルを時計回りに回すとボールは高めに、反時計回りに回すとボールは低めに投球されます。調節した後、上下調整固定板付ナットを時計回りに回して固定します（写真⑧）。



写真⑧

15 試投が終了したら、クイ差込穴（2箇所）に固定用クイを打ち込みます。

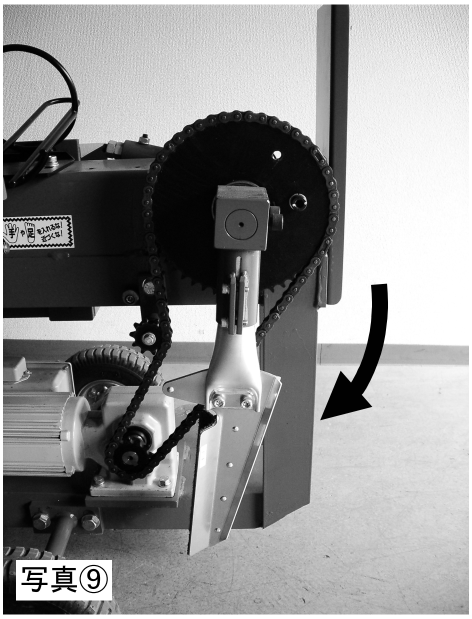
16 再度安全に注意をしてマシーンを使用します。

17 マシーンの使用が終了したら、電源スイッチをOFFにします。

18 電源プラグをコンセントより抜き、アースを外します。

19 スピード調整ハンドルを反時計回りに回して緩めて、ハンドを収納します（写真⑨）。

※ マシーンの使用後もスプリングを伸ばした状態にしておくと、スプリングに負担が掛かり、耐久性が落ちる原因となります。
※ ハンドが突出した状態で移動・保管すると衝突などにより変形・破損する原因となります。
※ スピード調整ハンドルを緩めすぎると脱落しますので、注意してください。


写真⑨

20 固定用クイをクイ差込穴より抜きます。

21 移動用取っ手を持ち、マシーン本体を収納します。

※ マシーン本体の移動は、大人2人以上で行ってください。

消耗品について

○ ハンドやスプリングなどの消耗品は、使用していくうちに材質・性能などが劣化していきます。
マシーンをより長く、より安全にお使いいただくために、定期的に点検し、交換してください。

○ マシーン本体の点検・部品交換・調整作業は、必ず電源スイッチをOFFにして、電源プラグを
コンセントから抜いた状態で行ってください。

◎ ハンド・ウデ

・交換を要する症状

→ 亀裂がある。曲がっている。（ハンドの）芝が減っている。コントロールが悪い。

・必要工具

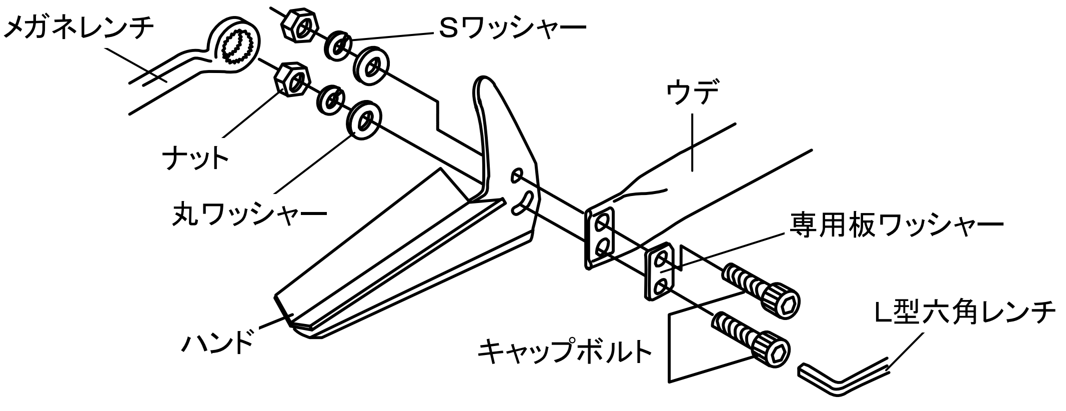
L型六角レンチ（5mm）×1本、L型六角レンチ（6mm）×1本、
メガネレンチ（13mm×10mm）×1本、キャップボルト（M6×30mm）×1本

※ 上記の工具は製品に付属しております。

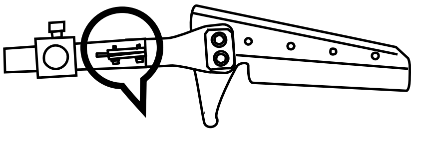
・取外し作業

（1）ハンドを取り付けているハンド固定ボルトをL型六角レンチ（6mm）で押さえたまま、
ナットをメガネレンチで反時計回りに回して取り外します。

※ ハンドを取り付けたままウデを本体から外さないでください。

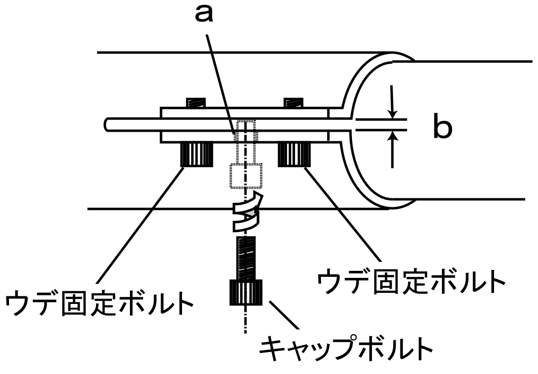


（2）ウデを取り付けているウデ固定ボルトをL型六角
レンチ（5mm）で反時計回りに回して取り外します。



（3）付属のキャップボルトを「a」のネジ穴に手で
時計回りに回して取り付けます。

（4）キャップボルトをL型六角レンチ（5mm）で
時計回りに回して締め込み、「b」のすき間を
開けてウデを取り外します。



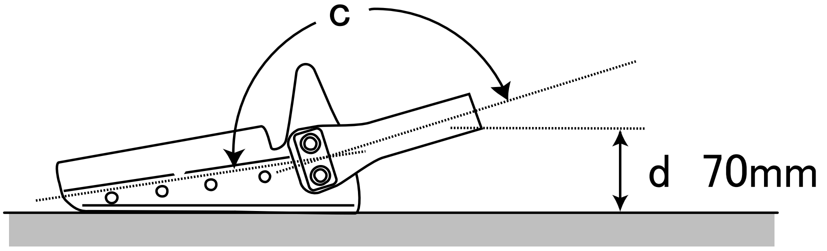
消耗品について

・取付け作業

（1）前ページの図を参照し、新しいウデ・ハンドを合わせ、ハンド固定ボルトをL型六角レンチ（6mm）で押さえたまま、ナットをメガネレンチで時計回りに回して仮固定します。

（2）ハンドの調整をします。

※ ハンドの調整は図を参照してください。少しの角度ズレでもコントロールが大きく変わりますので、水平の台にハンドを置き、図を参考に角度「c」の調整をしてください。

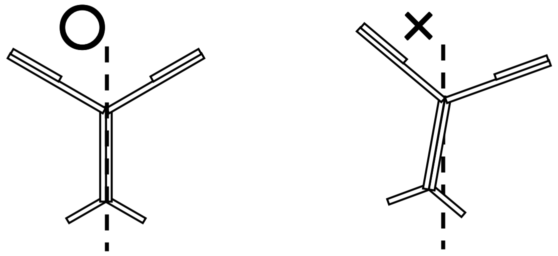


（出荷時、寸法「d」は70mmでストライクになるように調整されています。）

（3）ウデを本体の奥まで差し込みます。
キャップボルトをL型六角レンチ（5mm）で反時計回りに回して取り外します。

※ 抜き取ったキャップボルトはなくさないように保管しておいてください。

※ ハンドの取付向きに傾きがないように注意してください。
コントロールが悪くなり大変危険です。また、部品損傷の原因となります。



（4）ウデ固定ボルトをL型六角レンチ（5mm）で時計回りに回して取り付けます。

※ 片方のボルトだけを締め付けず必ず両方のボルトを均等に締めてください。

（5）ハンド固定ボルトをL型六角レンチ（6mm）で押さえたまま、ナットをメガネレンチで時計回りに回して、本締めします。

※ 締め具合が緩いと、ハンドとウデの角度が変わり、だんだんと高めに投球されるようになります。

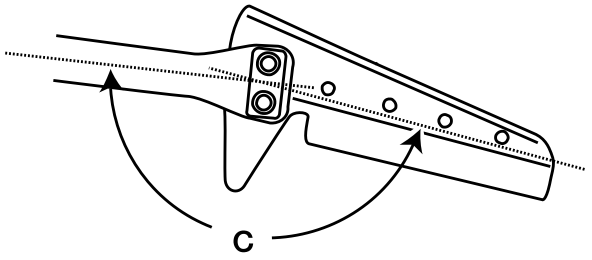
● 交換後は必ず試投確認を行なってください。
コントロールが上下にずれている場合は、ハンドの取付角度の調整が必要です。

・調整方法

（1）ハンドを取り付けているハンド固定ボルトをL型角レンチ（6mm）で押さえたまま、ナットをメガネレンチで反時計回りに回して軽く緩めます。

消耗品について

（2）投球状況に合わせて、ハンドの取付角度を調整します。
　　ハンドの角度「c」を広げるとボールは高めに、狭めるとボールは低めに投球されます。
　　　※ 少しの角度ズレでもコントロールが大きく変わります。



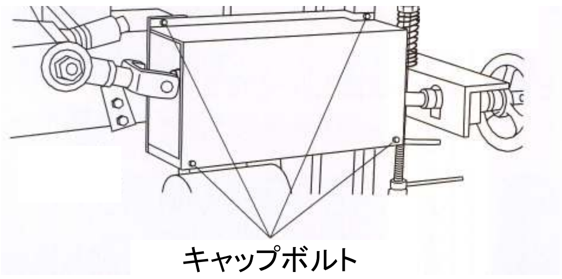
（3）ハンド固定ボルトをL型六角レンチ（6mm）で押さえたまま、ナットをメガネレンチで
　　時計回りに回して、強く締め込みます。
　　　※ 締め具合が緩いと、ハンドとウデの角度が変わり、だんだんと高めに
　　　　投球されるようになります。

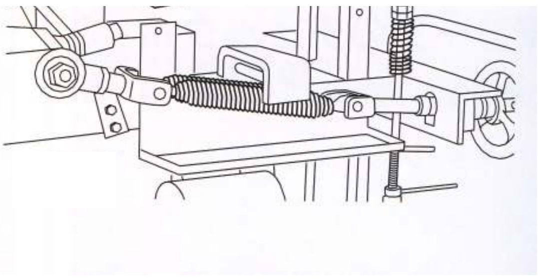
◎ スプリング

・ 交換を要する症状
　→ 最高球速が遅い。スプリングが切れた。
　　　※ スプリングは2本同時に交換してください。
　　　　（1本のみ切れた場合でも、残りの1本も寿命が近づいていると考えられます。）
　　　　（最高球速が遅い場合、2本共スプリングが伸びていると考えられます。）

・ 必要工具
　→ L型六角レンチ(5mm) × 1本

・ 取外し作業
（1）スプリングカバー（上）を取り付けているキャップボルトをL型六角レンチで
　　反時計回りに回して取り外します。

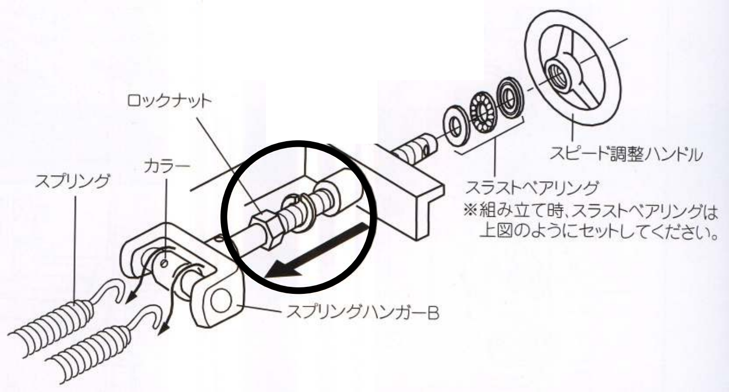




消耗品について

（2）スピード調整ハンドルを反時計回りに回して、スピード調整ハンドル、スラスト
ベアリング（３枚構成）を取り外します。

※ 作業は必ず大人２人で行ってください。１人がスプリングハンガーBを持ち、もう１人がスピード調整ハンドルを取り外してください。スピード調整ハンドルは必ず両手を添えて取り外してください。足元へ急に脱落する恐れがあり、大変危険です。また、スラストベアリングも脱落する恐れがあるので注意してください。スラストベアリングが脱落すると、破損または土・砂などが付着して機能を損う恐れがあります。

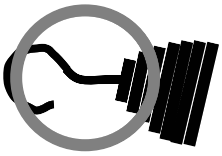


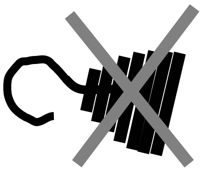
（3）スプリングハンガーBを図の「→」側に引き出し、これまで使用していたスプリングを
取り外します。

・ 取付け作業

（1）新しい2本のスプリングをスプリングハンガーA・Bに取り付けます。

※ スプリング内部にフックが引っ掛かっている場合がありますので、必ずフックが引き出された状態であるかを確認してください。





※ スプリングは弊社指定部品以外絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

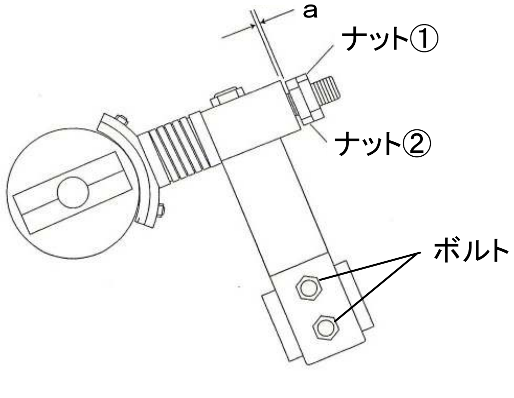
（2）スプリングハンガーBを本体へ差し込み、スラストベアリング（３枚構成）を通し、
スピード調整ハンドルを時計回りに回して取り付けます。

（3）スプリングカバー（上）を取り付けます。
キャップボルトをL型六角レンチで時計回りに回して締め付けます。

消耗品について

◎ ブレーキ

・交換を要する症状
→ マシーンの振動が大きい。コントロールが悪い。
ブレーキシューが減っている。
図の「a」の箇所にすき間が無い。

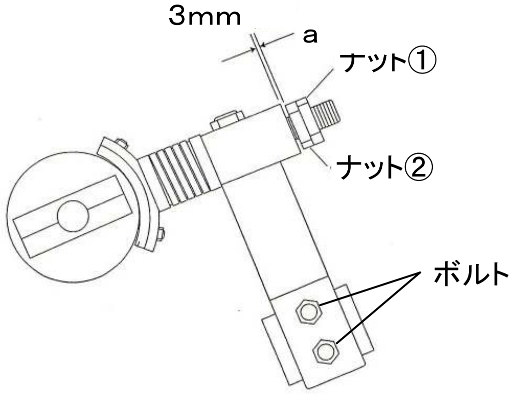


・必要工具
→ スパナ（17mm）×1本、スパナ（22mm）×2本

・取外し作業
→ ブレーキユニットを取り付けているボルトを
スパナ（17mm）で反時計回りに回して取り外します。

・取付け作業
→ 新しいブレーキユニットをボルトで取り付けます。
ボルトをスパナ（17mm）で時計回りに回して
締め付けます。

● 交換後は必ずブレーキ調整を行なってください。
図の「a」の箇所に3mmのすき間を開けます。



・調整方法
（1）ナット②を1本のスパナ（22mm）で固定したまま、
ナット①をもう1本のスパナ（22mm）で反時計回りに
回して緩めます。

（2）「a」の箇所に3mmの隙間が出来るように、ナット①、ナット②を反時計回りに回します。

（3）すき間ができたら、ナット②を1本のスパナ（22mm）で固定したまま、
ナット①をもう1本のスパナ（22mm）で時計回りに回して締め付けます。

◎ ウレタンロール

・交換を要する症状
→ マシーンの振動が大きい。ウレタンロールが摩耗している。

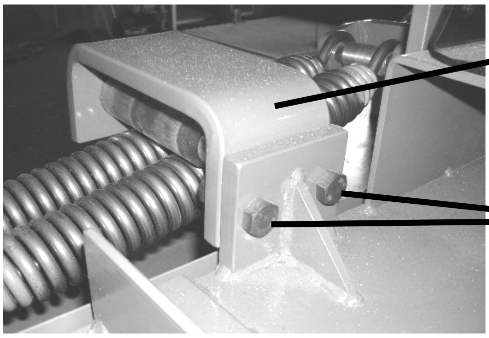
・必要工具
→ L型六角レンチ(5mm）×1本、スパナ（10mm）×1本、スパナ（17mm）×2本

消耗品について

・ 取外し作業

（1）スプリングの交換作業（P. 15、16）を参照し、スプリングカバー（上）を取り外します。

（2）ウレタンロール台を取り付けているボルトを1本のスパナ（17mm）で押さえたまま、
ナットをもう1本のスパナ（17mm）で反時計回りに回して取り外します。



・ 取付け作業

（1）新しいウレタンロール台をボルト・ナットで取り付けます。
ボルトを1本のスパナ（17mm）で押さえたまま、ナットをもう1本のスパナ（17mm）で
時計回りに回して締め付けます。

（2）スプリングの交換作業（P. 15、16）を参照し、スプリングカバーを取り付けてください。

◎ スプリングハンガーA

・ 交換を要する症状

→ ハンガーピンが磨耗している。

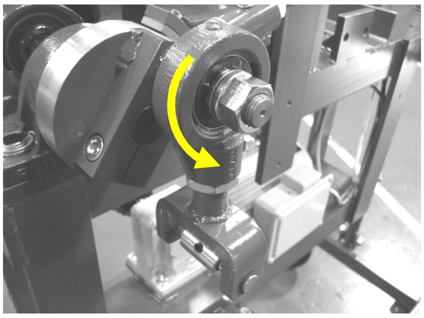
・ 必要工具

→ L型六角レンチ(5mm）×1本、スパナ（10mm）×1本、
モンキー（300mm）×1本　もしくは　スパナ（30mm）×1本

・ 取外し作業

（1）「スプリングの交換作業」（P. 15、16）を参照し、スプリング
ハンガーAからスプリングを取り外します。

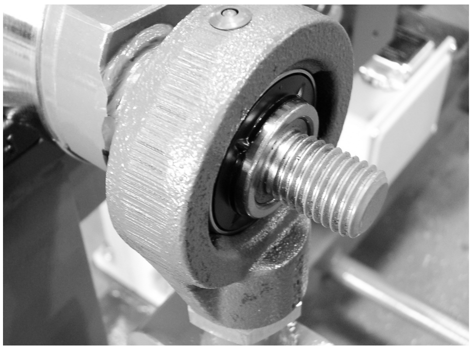
（2）スプリングハンガーAを取り付けているナットをモンキーもしくは
スパナ（30mm）で反時計回りに回して取り外します。

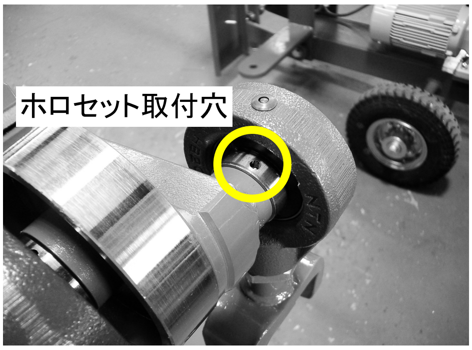


消耗品について

・取付け作業

（1）新しいスプリングハンガーAをナットで取り付けます。
　　ナットをモンキーもしくはスパナで時計回りに回して締め付けます。





※ スプリングハンガーAの取付向きに注意してください。
ホロセット取付穴のある側を本体側へ差し込んでください。

（2）スプリングの交換作業（P. 15、16）を参照し、スプリング及びスプリングカバーを取り付けます。

◎ スプリングハンガーB

・交換を要する症状

→ ハンガーピンが磨耗している。ネジ部が折損している。

・必要工具

→ L型六角レンチ(5mm）×1本、スパナ（10mm）×1本

・取外し作業

→ スプリングの交換作業（P. 15、16）を参照し、スプリングハンガーBを取り外します。

・取付け作業

→ 新しいスプリングハンガーBを取り付けます。
　スプリングの交換作業（P. 15、16）を参照し、スプリングハンガーB及びスプリング及び
　スプリングカバーを取り付けます。

◎ 空気入りタイヤの空気圧調整

・調整を要する症状

→ 空気入りタイヤの空気が不足して、マシーン本体の移動がしづらい。

・必要工具

→ 空気入れ（バイク用）×1個

消耗品について

・ 調整方法

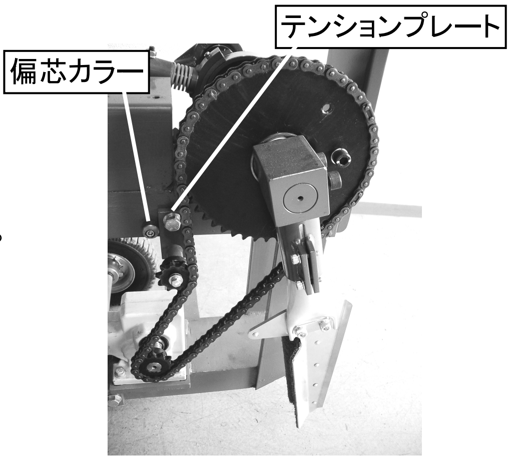
（1） 空気栓を作業しやすい位置にします。

（2） 空気栓のフタを反時計回りに回して取り外します。

（3） 空気入れ（バイク用）のノズルを空気栓に差し込み、空気を補充します。

（4） 充分な空気圧になったら、ノズルを空気栓から取り外します。

（5） 空気栓にフタを時計回りに回して取り付けます。



◎ チェーンの調整

・ 調整を要する症状

→ チェーンが伸びて、モーターのスプロケットが空回りする。

・ 必要工具

→ スパナ（17mm）×1本、スパナ（10mm）×1本、
L型六角レンチ（5mm）×1本

・ 調整方法

（1） テンションプレートの取付ボルトをスパナ（17mm）で反時計回りに回して、
軽く緩めます。

※ テンションプレートを手で強く押して、ずれる程度の緩め具合。

（2） たるんだチェーンが張るまで、テンションプレートをずらします。

（3） 適度な位置にテンションプレートをずらしたら、偏芯カラーの取付キャップボルトを
L型六角レンチで押さえたまま、裏側のナットをスパナ（10mm）で反時計回りに回して、
緩めます。

（4） テンションプレートに接触するまで、偏芯カラーを回転させます。

※ テンションプレートに接触しない場合は、チェーンの交換目安となります。
チェーンの交換作業につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

（5） 偏芯カラーの取付キャップボルトをL型六角レンチで押さえたまま、裏側のナットを
スパナ（10mm）で時計回りに回して締め付けます。

（6） スパナでテンションプレートの取付ボルトを時計回りに回して締め付けます。

◎ 注油箇所

マシーンをよりよい状態に保つために、定期的に、防錆スプレー・潤滑油スプレーで下記の部位に
注油してください。

- ● チェーン
- ● 上下調整ハンドル ネジ山部分
- ● スプリング
- ● スプリングハンガーB ネジ山部分
- ● ブレーキドラム

トラブルシューティング

使用中にトラブルがあった際には、使用を中止し異常箇所を確認してください。
問題が解決するまでは使用しないでください。

① 電源スイッチをONにしてもマシーンが動かない

● コンセントに電源プラグを差し込んでいますか？
　→ コンセントに電源プラグを差し込んでください。

● 電圧が不足していませんか？
　→ 単独回路（20A）で使用してください。
　　電圧が不足している場合は、電気工事店にご相談ください。

● コンセントに電気がきていますか？
　→ 他の電化製品またはテスターで確認してください。
　　電気がきていない場合は、電気工事店にご相談ください。

● リード線が断線していませんか？
　→ 新しいリード線に交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

② マシーン使用中に異音がする

● ブレーキはきいていますか？
　→ 新しいブレーキに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
　　交換方法は、「ブレーキの交換作業」（P. 17）を参照してください。

● ビスが緩んでいませんか？
　→ ビスのサイズに合った工具で締め付けてください。

● ビスが外れていませんか？
　→ ビスの取り付けが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

● 本体に亀裂は入っていませんか？
　→ 工場定期点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

● ウレタンロールが消耗していませんか？
　→ 新しいウレタンロールに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
　　交換方法は、「ウレタンロールの交換作業」（P. 17、18）を参照してください。

● スプリングが破損していませんか？
　→ 新しいスプリングに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
　　交換方法は、「スプリングの交換作業」（P. 15、16）を参照してください。

● ブレーキから異音がしていませんか？
　→ ブレーキドラムに注油が必要です。潤滑油スプレーを注油してください。

③ コントロールが悪い

● ボールの球種・状態は適切ですか？
→「使用ボールについて」（P. 9）を参照してください。

● マシーン本体は固定されていますか？
→ クイ差込穴に固定用クイを打ち込み、マシーン本体を固定してください。

● ハンドが変形していませんか？
→ 新しいハンドに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
交換方法は、「ハンド・ウデの交換作業」（P. 13～15）を参照してください。

● ハンドの芝が消耗していませんか？
→ 新しいハンドに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
交換方法は、「ハンド・ウデの交換作業」（P. 13～15）を参照してください。

● ハンドの取り付け角度は正しいですか？
→「ハンド・ウデの交換作業」（P. 13～15）を参照し、調整してください。

④ 作動するが投球しない

● スプリングが破損していませんか？
→ 新しいスプリングに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
交換方法は、「スプリング交換作業」（P. 15、16）を参照してください。

● ハンドが破損していませんか？
→ 新しいハンドに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
交換方法は、「ハンド・ウデの交換作業」（P. 13～15）を参照してください。

アフターサービスについて

○ 保証について

● 保証書について

このマシーンには保証書を別途添付してあります。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から
お受け取りください。内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間中の故障について

保証期間中に故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ。お買い上げの販売店に
ご相談ください。

※ 保証期間中でも、有償修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

万一、故障が発生した場合は、一度この取扱説明書を
よくお読みいただき、ご点検ください。

○ 工場定期点検について

ピッチングマシーンは使用開始後、２～３年後経過毎に
工場定期点検＜有料＞が必要となっております。

工場定期点検では未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく
為に各部品の点検・調整を行います。
工場定期点検は工場到着後 約１０日間（実働）で完了致します。別途部品交換＜有料＞が
必要な場合は最大 約１４日間（実働）が追加で必要になります。（時期によっては異なる場合が
あります。）ご依頼・お問い合わせは、お買い上げの販売店に ご相談ください。

※ 商品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、梱包費、その他の
諸掛かり費用は お客様のご負担となります（適切な梱包のうえ、ご送付ください）。ご返送の
場合も同様にお客様のご負担となります。

○ 修理について

故障が発生した場合は「トラブルシューティング」を参照し、故障内容を お調べください。

● 消耗部品について

お客様にて部品交換を行う場合は、お買い上げの販売店にて、マシーンの品番（商品名）・
製造番号・交換希望の部品名称を お申し付けください。

● その他の修理

消耗部品以外の部品交換については、お買い上げの販売店に ご相談ください。故障内容に
よっては工場での修理となります。修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により
有料にて承ります。この際には、常に良い状態で安全に ご使用いただく為に、部品交換作業に
加え工場定期点検を行います。

● 修理費用について

修理に掛かる部品代・交換作業代・工場定期点検料・その他の諸掛かり費用に関しては、
お買い上げの販売店に お問い合わせください。

※ ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

警告シールについて

品番

AC100V用
一般家庭用100V

ソフトボール
革ボール専用
⚠表示されているボール以外は使用しないでください。大変危険です。

製造番号	No.
製造年月	200　　年　　月

株式会社トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES
製造元 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号
電　　話 大阪（06）6552−8247（代表）

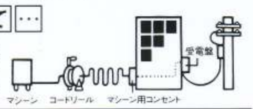
注意事項

漏電による感電を防ぐために…

- 必ずアースを接続してください。
- マシーンを濡らさないよう願います。
- 雨が降り始めましたら、直ちに使用を中止してマシーンを漏らさないような処置をしてください。

電気配線について…

電気配線が長すぎる場合や、コードがドラムに巻かれた状態のままでの使用は、電圧低下をまねき、ピッチングのスピードダウンの原因になります。このような場合は、電気工事店にご相談下さい。電気配線はできるだけ短く、コードリールは伸ばして配線してください。（詳しくは電気工事店にご相談ください）



⚠ マシーン使用中はハンドル部が上下に動きますので、ハンドルを持ったり、周辺に手や指を入れないでください。ケガをする恐れが有り、大変危険です。

⚠ 注　意
移動の際には、必ずこの部分を持って移動させてください。

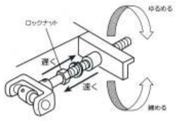
⚠ 注意
使用前に必ず亀裂等がないか確認してください。
「←」が示す箇所は特に注意してください。
そのまま使用すると、ウデが破損して飛んでいく恐れがあり大変危険です。
亀裂等の異常がある場合は交換をしてください。

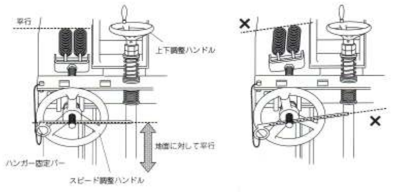
モーターが始動中に停止したときはすぐにスイッチを切ってください。
その状態で放置しますと、モーターの焼失につながります。
電源の電圧低下の恐れがあります。
電圧の確認をしてください。

⚠ 危　険
マシーン作動中は危険ですので、カバーの中に手を入れないでください。

スピード調整ハンドル操作方法

※初回使用時はこの項目の作業をする必要はありません。
ハンドルを左に回してゆるめロックナットを適当な位置に合わせてください。
ロックナットは前方へ回すと速く、後方へ回すとスピードは遅くなります。
ハンガー固定バー差し込み穴にハンガー固定バーを差し込んでください。
ハンガー固定バーを地面に対して平行に保ち（スプリングが左右平行になるように）、スピード調整ハンドルを右に回して固定してください。





※スピード調整ハンドルだけを回して固定した後に、ハンガー固定バーを使用してスプリングを左右平行に修正すると、固定されていたスピード調整ハンドルがゆるみ方向に回り、使用中にハンドルがゆるんでスピードが不安定になる恐れがあります。必ずハンガー固定バーを使用しスピード調整ハンドルを固定してください。またハンドルのゆるみは部品破損の原因となりますのでご注意ください。

※スプリングをゆるめすぎると外れる恐れがあります。

※スピード調整ハンドルで調整したあとは必ず試投してコントロールの確認をしてください。

⚠ 危　険

- ⃠ マシーン調整及び試投時は、キャッチャー・バッターは付けないでください。
- ⃠ マシーン作動中は絶対にマシーンの前には出ないでください。
- ⃠ マシーン作動中にボールの補給をしないでください。
- ⃠ マシーンに附属されている部品等は取りはずして使用しないでください。
- ⃠ 投球直前でマシーンを停止させないでください。
- ⃠ 各回転部には、手や物などを近づけないでください。
- ⚠ マシーン前ネットは必ず設置してください。
- ⚠ マシーンのオペレーターは、安全のため必ずヘルメット及び捕手用の防具を着用してください

⚠ 注　意

- ⚠ コードリールは全て引き出して使用してください。
- ⚠ アースを必ず接続して使用してください。
- ☞ ハンド、アーム部、スプリング等に亀裂がないか、各ボルト類等にゆるみがないか、運転前点検を行ってください。
- ☞ マシーン使用中は常に周囲の安全を確認してください。
- 使用中に万一、異常が発生した場合はすぐにスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- ☞ マシーンの操作は、マシーンを良く理解された方が行ってください。子供には、操作させないでください。

⚠ 注意　電源スイッチ操作について

- スプリングが引っ張られる途中で電源スイッチを切らないでください。
- スプリングの力で逆に回転している時に電源スイッチを入れないでください。

⚠ 注意　ボール投入について

- ボールは必ず１投につき１球ずつ投入してください。
- マシーンが投球してからハンドが再び始動する間に投入してください。
- 投入のタイミングを逃した場合は、１回空打ちしてから投入してください。
- 誤って、ボールホルダーからボールが他へ転げ落ちた際は必ず電源スイッチをＯＦＦにした後に、ボールを取り出してください。

⃠ **ボールホルダーへの直接のボール供給は絶対に行わないでください。**
作動中のハンド・ウデが接触する恐れがあり大変危険です。
ボール供給は必ずシュートの投入口から行ってください。

・マシーン本体に貼ってあるシールがはがれたり、表示が消えたりした場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。シールを無償にて送付致します。

・このページに掲載されているシールは実物大とは異なりますので、あらかじめご了承ください。

製品仕様

球速	90～120 km／h
使用球	革、ゴム3号
使用電源	AC100 V　50／60 Hz
モーター	ACモーター　200W×1ヶ
寸法(約)	奥行き 126 × 正面幅 63 × 高さ 92 cm
投球高さ(約)	98 cm
本体質量(約)	115 kg
付属品	L型六角レンチ 5mm(1ヶ) L型六角レンチ 6mm(1ヶ) メガネレンチ 10・13mm(1ヶ) キャップボルト M6×20mm(1ヶ) 固定用クイ(2本)

※ 商品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめ ご了承ください。